

FM よみたんの防災情報番組にて地震保険を啓発 ～平時は命を守る対策だけでなく、経済的な備えも重要であることを呼びかけ～

日本損害保険協会沖縄支部（委員長：大同火災海上保険株式会社 取締役常務執行役員 山里 武司）では、FM よみたんで放送している「防災情報番組 災害時は786」に当支部 山田 直毅 事務局長代理が3月13日（木）に出演し、経済的な備えとして地震保険が重要である旨、呼びかけました。

この番組は、「いつ起きるかわからない災害に備えて日頃からリスナーの皆さんと一緒に防災について考えていく」というコンセプトの1時間番組で比嘉 志穂 パーソナリティーからの質問に回答していく形式で進行されました。

山田事務局長代理から「避難経路の確認等、命を守る備えをしていただいたうえで、経済的な備えとして地震保険の加入も検討してほしい。」「地震保険は生活再建に役立つ保険であるため、保険金は使用用途に制限がなく、住宅再建や避難費用等に使用いただいて問題ないこと。」、等の地震に対する平時からの備えにつき、地震保険制度を中心に県民にしっかり検討いただけるよう情報提供をしました。

番組は、FM よみたんのYou Tube で公開されています。是非ご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=loMFI fDbguw>



沖縄県は、残念なことに地震保険の世帯加入率が全国ワースト1位となっており、沖縄支部では、FM よみたん等のマスメディアや関係機関・団体と連携し、引き続き、沖縄県における地震リスクの認識および、その備えについて啓発してまいります。



収録時の記念撮影